

通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第84期(決算日 2022年7月19日)
第85期(決算日 2022年8月17日)
第86期(決算日 2022年9月20日)
第87期(決算日 2022年10月17日)
第88期(決算日 2022年11月17日)
第89期(決算日 2022年12月19日)

(作成対象期間 2022年6月18日～2022年12月19日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信（リート）		
信託期間	2015年6月26日～2025年6月17日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分	込 配 金	期 騰 落 中 率			
	円		円	%	%	%	百万円
60期末（2020年7月17日）	1,442		30	△ 6.0	—	98.5	17,951
61期末（2020年8月17日）	1,473		30	4.2	—	98.6	18,161
62期末（2020年9月17日）	1,508		30	4.4	—	98.6	18,368
63期末（2020年10月19日）	1,390		30	△ 5.8	—	98.7	16,805
64期末（2020年11月17日）	1,460		30	7.2	—	98.6	17,056
65期末（2020年12月17日）	1,465		30	2.4	—	98.7	16,878
66期末（2021年1月18日）	1,407		30	△ 1.9	—	98.6	16,015
67期末（2021年2月17日）	1,442		20	3.9	—	98.9	16,106
68期末（2021年3月17日）	1,457		20	2.4	—	98.7	15,127
69期末（2021年4月19日）	1,487		20	3.4	—	98.6	15,002
70期末（2021年5月17日）	1,554		20	5.9	—	98.9	15,214
71期末（2021年6月17日）	1,651		20	7.5	—	98.6	15,678
72期末（2021年7月19日）	1,668		20	2.2	—	98.7	15,435
73期末（2021年8月17日）	1,627		20	△ 1.3	—	98.9	14,840
74期末（2021年9月17日）	1,640		20	2.0	—	98.6	14,559
75期末（2021年10月18日）	1,624		20	0.2	—	98.8	14,171
76期末（2021年11月17日）	1,653		20	3.0	—	98.8	13,826
77期末（2021年12月17日）	1,618		20	△ 0.9	—	99.3	13,081
78期末（2022年1月17日）	1,628		20	1.9	—	98.7	12,616
79期末（2022年2月17日）	1,628		20	1.2	—	98.7	12,077
80期末（2022年3月17日）	1,680		20	4.4	—	98.9	12,267
81期末（2022年4月18日）	1,866		20	12.3	—	99.0	13,381
82期末（2022年5月17日）	1,597		20	△ 13.3	—	98.7	11,193
83期末（2022年6月17日）	1,526		20	△ 3.2	—	98.3	10,635
84期末（2022年7月19日）	1,544		20	2.5	—	98.6	10,680
85期末（2022年8月17日）	1,671		20	9.5	—	98.7	11,477
86期末（2022年9月20日）	1,538		20	△ 6.8	—	98.5	10,432
87期末（2022年10月17日）	1,367		15	△ 10.1	—	98.4	9,239
88期末（2022年11月17日）	1,409		15	4.2	—	98.5	9,353
89期末（2022年12月19日）	1,389		15	△ 0.4	—	98.6	9,099

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

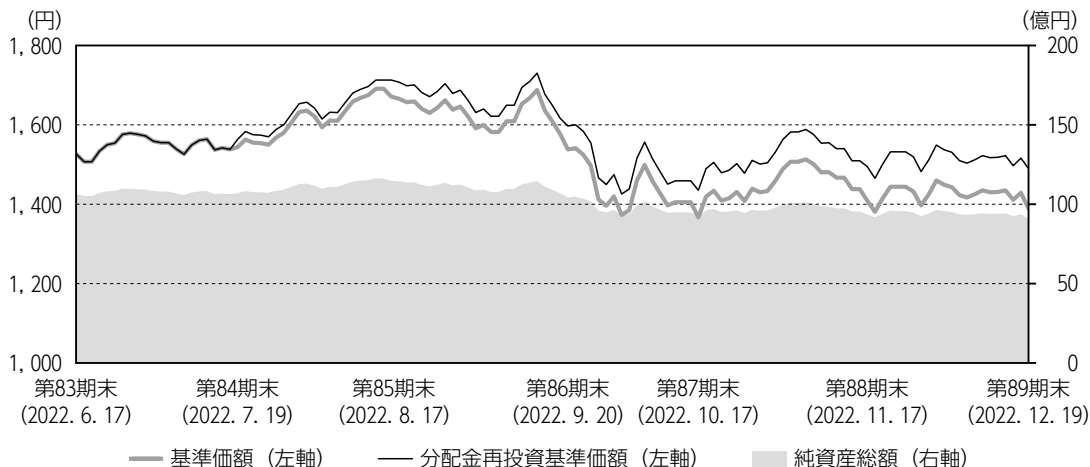
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第84期首：1,526円

第89期末：1,389円（既払分配金105円）

騰落率：△2.4%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドの下落が要因となり、基準価額は下落しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドについては、米国のリートに投資し、米ドル売り／

ブラジル・リアル買いの為替取引を行うとともに、リートならびに通貨（円に対するブラジル・リアル）のカバードコール戦略を構築した結果、ブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことはプラス要因となりましたが、リートが下落したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、リーートのオプション、通貨のオプション共にマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第84期	(期 首) 2022年 6 月17日	円 1, 526	% —	% —	% 98. 3
	6 月末	1, 572	3. 0	—	98. 7
	(期 末) 2022年 7 月19日	1, 564	2. 5	—	98. 6
第85期	(期 首) 2022年 7 月19日	1, 544	—	—	98. 6
	7 月末	1, 632	5. 7	—	98. 8
	(期 末) 2022年 8 月17日	1, 691	9. 5	—	98. 7
第86期	(期 首) 2022年 8 月17日	1, 671	—	—	98. 7
	8 月末	1, 621	△ 3. 0	—	99. 3
	(期 末) 2022年 9 月20日	1, 558	△ 6. 8	—	98. 5
第87期	(期 首) 2022年 9 月20日	1, 538	—	—	98. 5
	9 月末	1, 373	△ 10. 7	—	98. 5
	(期 末) 2022年10月17日	1, 382	△ 10. 1	—	98. 4
第88期	(期 首) 2022年10月17日	1, 367	—	—	98. 4
	10月末	1, 458	6. 7	—	99. 4
	(期 末) 2022年11月17日	1, 424	4. 2	—	98. 5
第89期	(期 首) 2022年11月17日	1, 409	—	—	98. 5
	11月末	1, 425	1. 1	—	99. 0
	(期 末) 2022年12月19日	1, 404	△ 0. 4	—	98. 6

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 6. 18 ~ 2022. 12. 19)

■米国不動産E T F市況

i シェアーズ米国不動産E T F（配当再投資）は米ドルベースで下落しました。

米国不動産E T F市況は、当作成期の前半は、好調なリート企業の決算や利上げペースの減速見通しを背景に、堅調に推移しました。後半は、市場予想を上回るC P I（消費者物価指数）を受けてF R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め政策の継続観測が強まったことや、主要国における金利上昇が嫌気され、反落しました。一方で、割安感から買い戻しの動きが広がるなど、下落幅を縮小する場面も見られました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

当作成期の前半は、ブラジル中央銀行による政策金利の引き上げや同国の政治リスクへの過度な警戒感が後退したことを受け、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。後半は、堅調に推移したものの、新政権による財政支出の拡大から財政悪化懸念が強まったことで、上昇幅を縮小しました。

■短期金利市況

F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを1.50~1.75%から4.25~4.50%に引き上げました。一方、ブラジル中央銀行は政策金利を合計0.50%ポイント引き上げ、13.75%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※アメリカン・リート・クワトロ・ファンド：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国の

リートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50%程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 6. 18 ～ 2022. 12. 19）

■当ファンド

アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資しました。アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETF（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行いました。米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。投資対象とするETFにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築しました。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50%程度としました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2022年 6月18日 ～2022年 7月19日	2022年 7月20日 ～2022年 8月17日	2022年 8月18日 ～2022年 9月20日	2022年 9月21日 ～2022年 10月17日	2022年10月18日 ～2022年11月17日	2022年11月18日 ～2022年12月19日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	15	15	15
対基準価額比率 (%)	1.28	1.18	1.28	1.09	1.05	1.07
当期の収益 (円)	20	20	20	15	15	15
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,199	3,222	3,251	3,276	3,305	3,337

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 44.60円	✓ 43.01円	✓ 48.78円	✓ 39.45円	✓ 44.05円	✓ 46.66円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,814.18	2,815.62	2,817.05	2,819.84	2,820.95	2,822.31
(d) 分配準備積立金	361.13	384.34	405.96	432.05	455.40	483.11
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,219.91	3,242.97	3,271.81	3,291.35	3,320.40	3,352.09
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,199.91	3,222.97	3,251.81	3,276.35	3,305.40	3,337.09

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドとダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資します。また、アメリカン・リート・クワトロ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたE T F（上場投資信託証券）を活用し、米国のリートへの投資を行います。米ドル建ての資産に対して、原則として、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。対象とする指数またはE T Fにかかるコール・オプション（買う権利）の売りを行い、リート・カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額の50％程度とします。円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行い、通貨カバードコール戦略を構築します。オプションのカバー率はファンドの純資産総額のおおむね50％程度とします。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

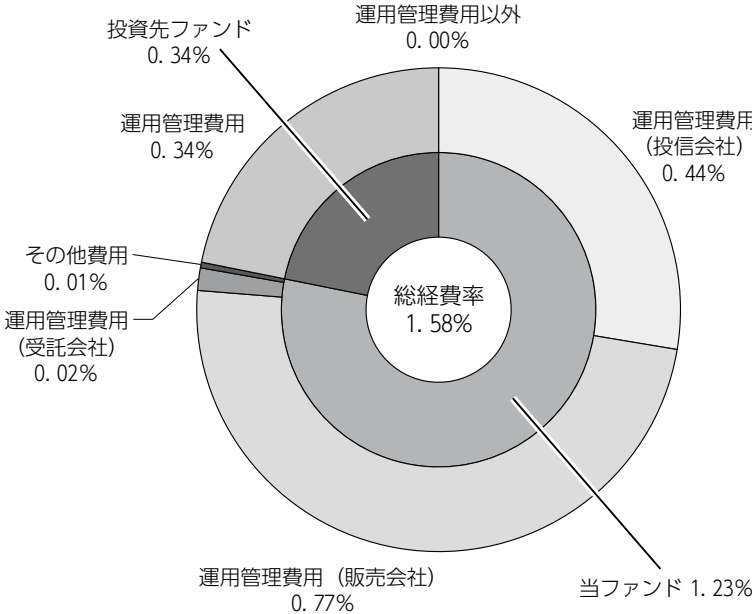
項 目	第84期～第89期 (2022. 6. 18～2022. 12. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	9円	0. 623%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,518円です。
（投 信 会 社）	(3)	(0. 221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(6)	(0. 389)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 038	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託受益証券）	(1)	(0. 038)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	10	0. 664	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.58%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
- (注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2022年 6 月18日から2022年12月19日まで)

決 算 期	第 84 期 ～ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	240,955.30349	1,864,942	175,246.85585	1,362,899

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2022年 6 月18日から2022年12月19日まで)

第 84 期 ～ 第 89 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
				DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND（ケイマン諸島）	175,246.85585	1,362,899	7

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） DAIWA AMERICAN REIT QUATTRO INCOME FUND	1,317,570.72944	8,970,021	98.6

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
		千□	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	159	159

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月19日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	8,970,021	97.3
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	159	0.0
コール・ローン等、その他	252,830	2.7
投資信託財産総額	9,223,011	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型 米国リート・αフットロ（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年7月19日）、（2022年8月17日）、（2022年9月20日）、（2022年10月17日）、（2022年11月17日）、（2022年12月19日）現在

項 目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	10,835,998,125円	11,644,936,827円	10,588,981,318円	9,359,062,805円	9,470,362,097円	9,223,011,175円
コール・ローン等	308,149,048	319,073,228	316,507,960	267,701,968	254,203,991	252,830,238
投資信託受益証券（評価額）	10,527,689,618	11,325,704,156	10,272,313,915	9,091,201,410	9,215,998,679	8,970,021,526
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（評価額）	159,459	159,443	159,443	159,427	159,427	159,411
(B) 負債	155,924,796	167,046,625	156,942,627	119,234,177	116,453,972	123,865,033
未払収益分配金	138,345,042	137,383,711	135,636,851	101,383,908	99,551,591	98,277,576
未払解約金	5,843,602	18,553,668	8,254,963	8,603,487	6,304,241	14,928,526
未払信託報酬	11,658,442	10,958,492	12,814,643	8,950,951	10,234,099	10,226,728
その他未払費用	77,710	150,754	236,170	295,831	364,041	432,203
(C) 純資産総額（A－B）	10,680,073,329	11,477,890,202	10,432,038,691	9,239,828,628	9,353,908,125	9,099,146,142
元本	69,172,521,213	68,691,855,527	67,818,425,739	67,589,272,535	66,367,727,367	65,518,384,551
次期繰越損益金	△ 58,492,447,884	△ 57,213,965,325	△ 57,386,387,048	△ 58,349,443,907	△ 57,013,819,242	△ 56,419,238,409
(D) 受益権総口数	69,172,521,213口	68,691,855,527口	67,818,425,739口	67,589,272,535口	66,367,727,367口	65,518,384,551口
1万口当り基準価額（C／D）	1,544円	1,671円	1,538円	1,367円	1,409円	1,389円

* 当作成期首における元本額は69,719,512,209円、当作成期間（第84期～第89期）中における追加設定元本額は1,521,321,609円、同解約元本額は5,722,449,267円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は1,389円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は56,419,238,409円です。

■損益の状況

第84期 自2022年6月18日 至2022年7月19日 第86期 自2022年8月18日 至2022年9月20日 第88期 自2022年10月18日 至2022年11月17日
 第85期 自2022年7月20日 至2022年8月17日 第87期 自2022年9月21日 至2022年10月17日 第89期 自2022年11月18日 至2022年12月19日

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	320,255,723円	298,684,823円	343,781,824円	275,686,794円	300,282,619円	316,046,957円
受取配当金	320,260,807	298,686,489	343,787,455	275,693,973	300,289,216	316,056,413
受取利息	19	3	5	14	24	22
支払利息	△ 5,103	△ 1,669	△ 5,636	△ 7,193	△ 6,621	△ 9,478
(B) 有価証券売買損益	△ 42,844,130	720,834,934	△ 1,094,931,520	△ 1,319,347,831	90,442,506	△ 342,595,577
売買益	1,057,893	724,410,178	4,421,831	8,776,686	99,450,024	1,391,490
売買損	△ 43,902,023	△ 3,575,244	△ 1,099,353,351	△ 1,328,124,517	△ 9,007,518	△ 343,987,067
(C) 信託報酬等	△ 11,736,152	△ 11,031,536	△ 12,900,059	△ 9,010,612	△ 10,302,309	△ 10,294,890
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	265,675,441	1,008,488,221	△ 764,049,755	△ 1,052,671,649	380,422,816	△ 36,843,510
(E) 前期繰越損益金	△ 20,975,269,617	△ 20,628,093,818	△ 19,439,394,249	△ 20,144,451,989	△ 20,862,815,628	△ 20,262,355,456
(F) 追加信託差損益金	△ 37,644,508,666	△ 37,456,976,017	△ 37,047,306,193	△ 37,050,936,361	△ 36,431,874,839	△ 36,021,761,867
（配当等相当額）	(19,466,402,262)	(19,341,039,178)	(19,104,834,938)	(19,059,094,296)	(18,722,036,041)	(18,491,340,665)
（売買損益相当額）	(△ 57,110,910,928)	(△ 56,798,015,195)	(△ 56,152,141,131)	(△ 56,110,030,657)	(△ 55,153,910,880)	(△ 54,513,102,532)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 58,354,102,842	△ 57,076,581,614	△ 57,250,750,197	△ 58,248,059,999	△ 56,914,267,651	△ 56,320,960,833
(H) 収益分配金	△ 138,345,042	△ 137,383,711	△ 135,636,851	△ 101,383,908	△ 99,551,591	△ 98,277,576
次期繰越損益金（G＋H）	△ 58,492,447,884	△ 57,213,965,325	△ 57,386,387,048	△ 58,349,443,907	△ 57,013,819,242	△ 56,419,238,409
追加信託差損益金	△ 37,644,508,666	△ 37,456,976,017	△ 37,047,306,193	△ 37,050,936,361	△ 36,431,874,839	△ 36,021,761,867
（配当等相当額）	(19,466,402,262)	(19,341,039,178)	(19,104,834,938)	(19,059,094,296)	(18,722,036,041)	(18,491,340,665)
（売買損益相当額）	(△ 57,110,910,928)	(△ 56,798,015,195)	(△ 56,152,141,131)	(△ 56,110,030,657)	(△ 55,153,910,880)	(△ 54,513,102,532)
分配準備積立金	2,668,248,394	2,798,180,091	2,948,444,052	3,085,522,055	3,215,216,917	3,372,766,685
繰越損益金	△ 23,516,187,612	△ 22,555,169,399	△ 23,287,524,907	△ 24,384,029,601	△ 23,797,161,320	△ 23,770,243,227

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	308,519,571円	295,452,583円	330,881,762円	266,676,181円	292,365,291円	305,752,063円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	19,466,402,262	19,341,039,178	19,104,834,938	19,059,094,296	18,722,036,041	18,491,340,665
(d) 分配準備積立金	2,498,073,865	2,640,111,219	2,753,199,141	2,920,229,782	3,022,403,217	3,165,292,198
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	22,272,995,698	22,276,602,980	22,188,915,841	22,246,000,259	22,036,804,549	21,962,384,926
(f) 分配金	138,345,042	137,383,711	135,636,851	101,383,908	99,551,591	98,277,576
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	22,134,650,656	22,139,219,269	22,053,278,990	22,144,616,351	21,937,252,958	21,864,107,350
(h) 受益権総口数	69,172,521,213□	68,691,855,527□	67,818,425,739□	67,589,272,535□	66,367,727,367□	65,518,384,551□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金（税込み）	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	20円	20円	20円	15円	15円	15円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

アメリカン・リート・クワトロ・ファンド

当ファンド（通貨選択型 米国リート・αクワトロ（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・アメリカン・リート・クワトロ・インカム・ファンド」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（円建て）

財政状態計算書
2021年 9 月30日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥	13, 582, 422, 582
資産合計		13, 582, 422, 582

負債

負債合計	¥	—
------	---	---

資本（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産）	¥	13, 582, 422, 582
--------------------------	---	-------------------

包括利益計算書

2021年9月30日に終了した年度

収益

金融商品の公正価値での純損益		
手数料収入	¥	5,201,550,034
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による実現損益		(3,397,875,674)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価損益の変動		3,300,456,553
収益合計		5,104,130,913

費用

報酬代行会社報酬		54,343,660
費用合計		54,343,660

営業損益		5,049,787,253
------	--	---------------

包括損益合計

（運用による償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減）	¥	5,049,787,253
--------------------------------	---	---------------

2021年9月30日現在の担保付スワップの残高

ストラテジー	米国 REIT クワトロ戦略
満期日	2027年12月31日
カウンターパーティ	クレディ・スイス・インターナショナル
簿価	92,888,216,975 円
評価額	13,582,422,582 円
評価損益	(79,305,794,393) 円

（注）担保付スワップ取引を通じて、上場外国投資信託証券に投資し実質的に米国のリートへ投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせています。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型 米国リート・ α クワトロ（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第89期の決算日（2022年12月19日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年6月18日～2022年12月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年12月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2022年12月9日）

（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

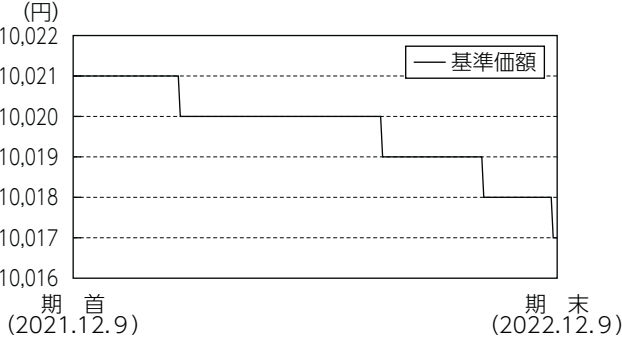
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
	10,021	—	—
12月末	10,021	0.0	—
2022年1月末	10,021	0.0	—
2月末	10,021	0.0	—
3月末	10,020	△0.0	—
4月末	10,020	△0.0	—
5月末	10,020	△0.0	—
6月末	10,020	△0.0	—
7月末	10,020	△0.0	—
8月末	10,019	△0.0	—
9月末	10,019	△0.0	—
10月末	10,018	△0.0	—
11月末	10,018	△0.0	—
(期末)2022年12月9日	10,017	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,021円 期末：10,017円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	44,934,654	100.0
投資信託財産総額	44,934,654	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,934,654,863円
コール・ローン等	44,934,654,863
(B) 負債	1,205,058
未払解約金	1,205,058
(C) 純資産総額(A－B)	44,933,449,805
元本	44,855,160,815
次期繰越損益金	78,288,990
(D) 受益権総口数	44,855,160,815口
1万口当り基準価額(C／D)	10,017円

* 期首における元本額は94,938,109,576円、当作成期間中における追加設定元本額は94,531,696,979円、同解約元本額は144,614,645,740円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	3,974,859,681円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,984,542,130円
ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s 用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワ J リートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	2,083,616,103円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	9,980,330円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,486,750,161円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,364,886,518円
ダイワ J G B ベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	18,942,942,107円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティ T M ・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ダウ型ファンド・マネーポートフォリオ - U S Tライアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 -	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,492,067円
支払利息	△ 16,492,067
(B) 当期損益金(A)	△ 16,492,067
(C) 前期繰越損益金	201,304,649
(D) 解約差損益金	△293,300,613
(E) 追加信託差損益金	186,777,021
(F) 合計(B + C + D + E)	78,288,990
次期繰越損益金(F)	78,288,990

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。